

牡蠣産業の活性化～音戸から世界へ～

写真準備中

写真準備中

呉市の重要産業であるマガキ養殖に関連するインキュベーションワークである。マガキ殻表面の特異な微生物生態系がマガキに与える生理・生態学的影響を解明すること、特に下記する2つの仮説の検証を目的とする。前年度までにこのIWではカキ殻1gには1億匹を超えるバクテリアが付着（カキ中腸線の微生物密度に匹敵）していること、また例外なく *Microvirgula aerodenitrificans* という種が60%程度の占有比率で存在していることを明らかとした。今年度はこの結果を受け、同細菌がマガキに及ぼす影響について下記する2つの仮説の検証を行っていく。

仮説1. *Microvirgula*属細菌の作用によりカキ殻はカルサイト相を持つ

仮説2. *Microvirgula*属細菌はノロウイルスの特異的吸着作用を持つ